

エコアクション21 環境活動レポート

平成26年度
平成26年9月～平成27年8月



平成28年3月 作成

株式会社 河本商事

目次

- 1～4 組織の概要
 - 5 産業廃棄物処理フロー
 - 6 対象範囲
 - 7 環境方針
- 8～13 環境目標・環境目標の実績
 - 14 環境活動計画
 - 15 環境活動計画の取組結果とその評価
次年度の取組内容
 - 16 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無
 - 17 代表者による全体評価と見直しの結果

組織の概要

事業所名および代表者名

株式会社 河本商事
代表取締役 河本啓次

設立年月日

昭和45年2月

資本金

2,000万円

所在地

〒800-0315
福岡県京都郡苅田町港町30番地の7

従業員数 23人

延べ床面積 102.5m²

環境管理責任者および担当者

責任者	河本文雄	(専務取締役)
担当者	山中百恵	(アシスタントマネージャー)
TEL	093-434-3131	
FAX	093-434-4416	
e-mail	kawamoto33124@mug.biglobe.ne.jp	

事業内容

産業廃棄物中間処理業
・福岡県 (破碎・選別)
産業廃棄物収集運搬業
・福岡県
・山口県
・大分県
特定建設業
・土木・ほ装・とび・土工・
一般建設業
一般貨物自動車運送業
・水道
リサイクル製品 製造業
・再生クラッシュャーラン
・再生粒調砕石

} 福岡県リサイクル認定商品

事業年度 9月1日～翌年8月31日

事業の規模

売上高	338,077,000 円	(平成26年9月～平成27年8月)
収集運搬受託量	4,951.36 t	(平成26年9月～平成27年8月)
産業廃棄物受託量	34,057.23 t	(平成26年9月～平成27年8月)

処理料金

各種料金については別途お見積もり依頼を受け付けております。
少量でもお気軽にお問い合わせください。

TEL	093-434-3131
FAX	093-434-4416
e-mail	kawamoto33124@mug.biglobe.ne.jp
担当	河本 (社長) 山中 (アシスタントマネージャー)

許可一覧

産業廃棄物処分業 福岡県 許可品目	許可NO.	4020010511	許可取得年月日及び許可有効期限 平成23年8月1日～平成28年7月31日 破碎: ガラスくず等、がれき類、紙くず、木くず、繊維くず 廃プラスチック類 選別: 紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等、
	処理能力	破碎: 選別: 脱水:	 ガラスくず等 768t/日 がれき類 1,080t/日 廃プラスチック類 1.88t/日 紙くず 1.29t/日 木くず 2.47t/日 繊維くず 3.06t/日 紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等 9.0t/日 汚泥 9.6m ³ /日
	産業廃棄物収集運搬業 福岡県 山口県 大分県	許可NO.	取得年月日 有効期限 平成25年12月7日～平成30年12月6日 平成24年9月30日～平成29年9月29日 平成24年9月30日～平成29年9月29日
	許可品目	燃えがら・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ、 廃プラスチック類(廃容器包装・廃プリント配線板を含む) 紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、 金属くず(廃容器包装、廃プリント配線板、鉛蓄電池の 電極で不要物であるもの、鉛製の管又は板であって 不要物であるものを含む)、ガラスくず等(廃ブラウン管 (側面部に限る)、廃石膏ボード、廃容器包装を含む) 鋳さい、がれき類、ばいじん 以上15種類。ただし、石綿含有産業廃棄物である物を 含む、上記以外の非安定型産業廃棄物及び 特別管理産業廃棄物を除く。	

許可車両	北九州	100か	8579
	北九州	100か	8311
	北九州	100か	6566
	北九州	100か	5801
	北九州	100か	2933
	北九州	100か	2093
	北九州	100か	787
	北九州	11き	5114
	北九州	11き	9469
	北九州	11き	7160
	北九州	100さ	8427
	北九州	41す	457
	北九州	41き	2539

特定建設業 福岡県知事 特-24 76022号
土木・石・ほ装・塗装・とび土工・鋼構造物
しゅんせつ・水道
平成24年8月29日～平成29年8月28日

一般建設業 福岡県知事 般-24 76022号
管
平成24年8月29日～平成29年8月28日

計量証明事業 福岡県知事 第219号 質量に係る計量証明

古物商許可 福岡県公安委員会 第909990042143号 平成18年8月24日交付

設備・機械・設備の概要

10tダンプ	12台	移動式クラッシャー	1台
4tコンテナ車	1台	破碎プラント	1基
散水車	1台	高速一軸破碎機	1台
営業車	3台	選別ライン	1台
パトロールカー	2台	コンテナ80X	30個
タイヤショベル	2台	0.7クロー	1台
バックホー	5台	0.45クロー	1台
フォークリフト	1台	小割機	1台
		ブレーカー	1台

地下燃料タンク 1基 (自社使用)
(軽油・最大貯蔵量9,600kg)

40tトラックスケール 1基

ボランティア活動の状況

荻田町役場 年に数回の町内清掃および車両貸し出し

福岡県荻田港務所 年に1回神ノ島の清掃

近隣周辺清掃等の実施

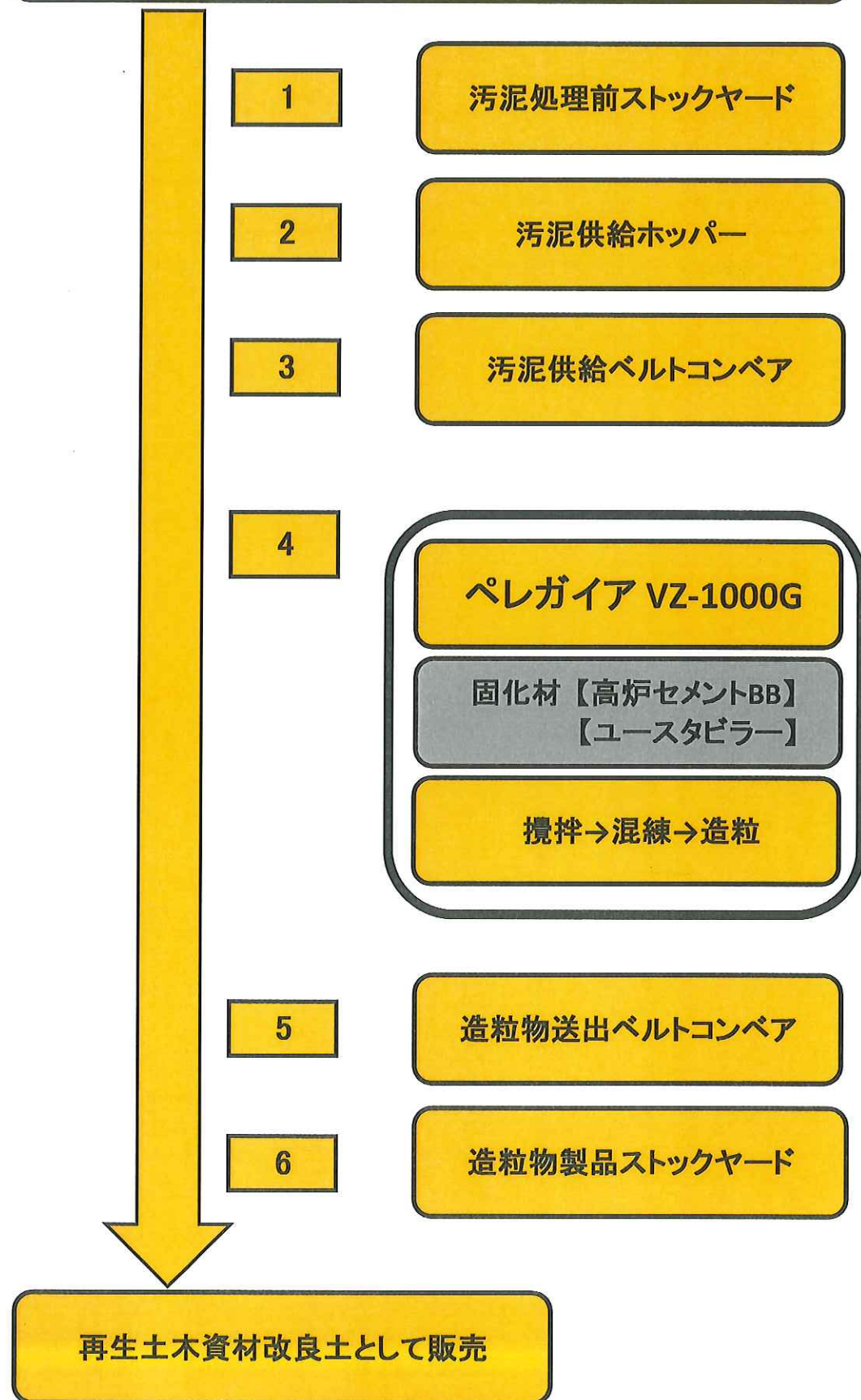


神ノ島での清掃状況



周辺道路の道路清掃

汚泥処理プラント混練造粒固化システムフローチャート



産業廃棄物処理フロー（コンクリート・アスファルト・がれき・土砂）

①未処理コンクリート等



②土砂入りコンクリート等



③小割作業



④トロンメル選別機



⑤処理済コンクリート等



【埋戻し土砂】

⑥第一次破碎機



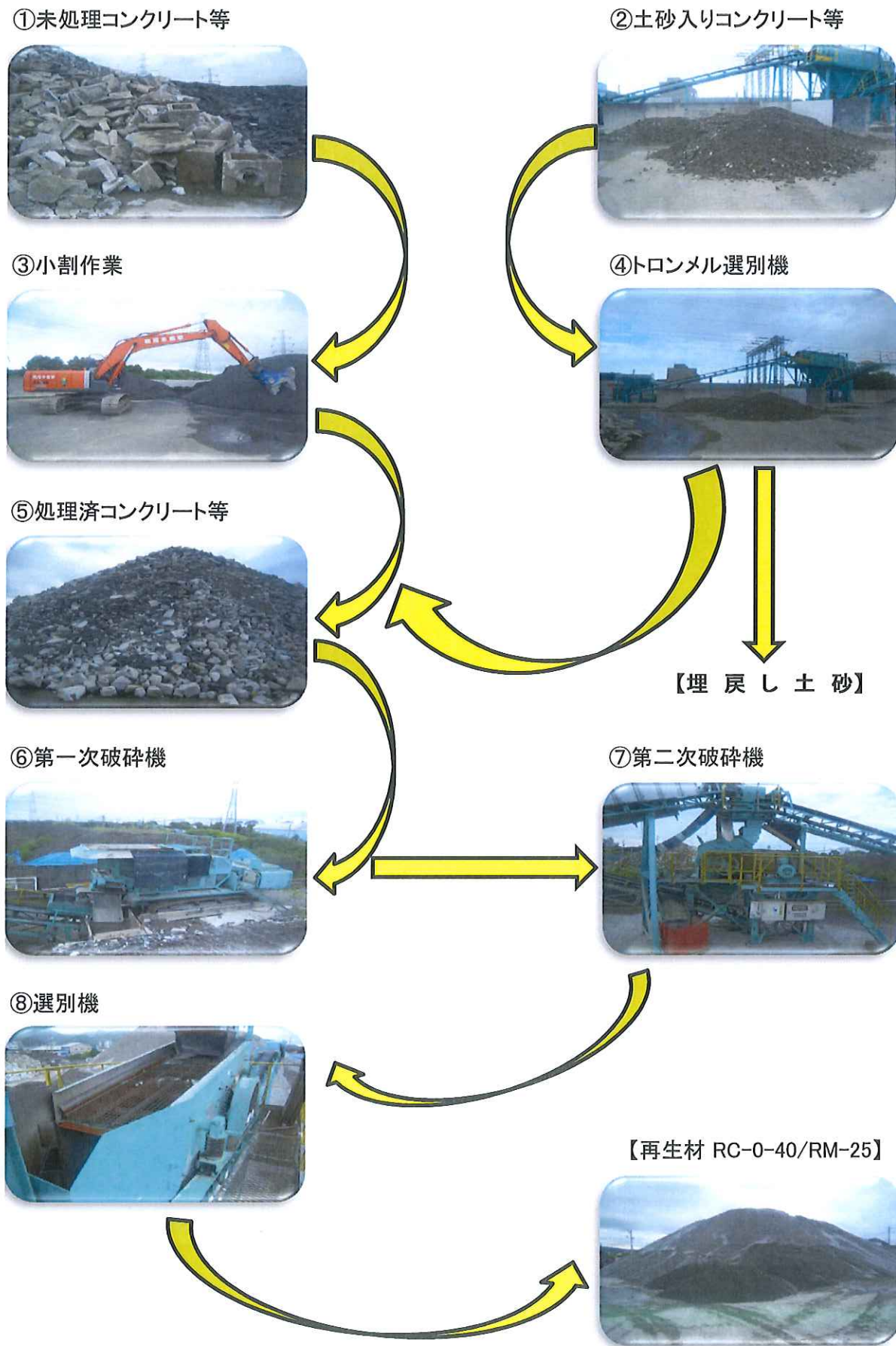
⑦第二次破碎機



⑧選別機

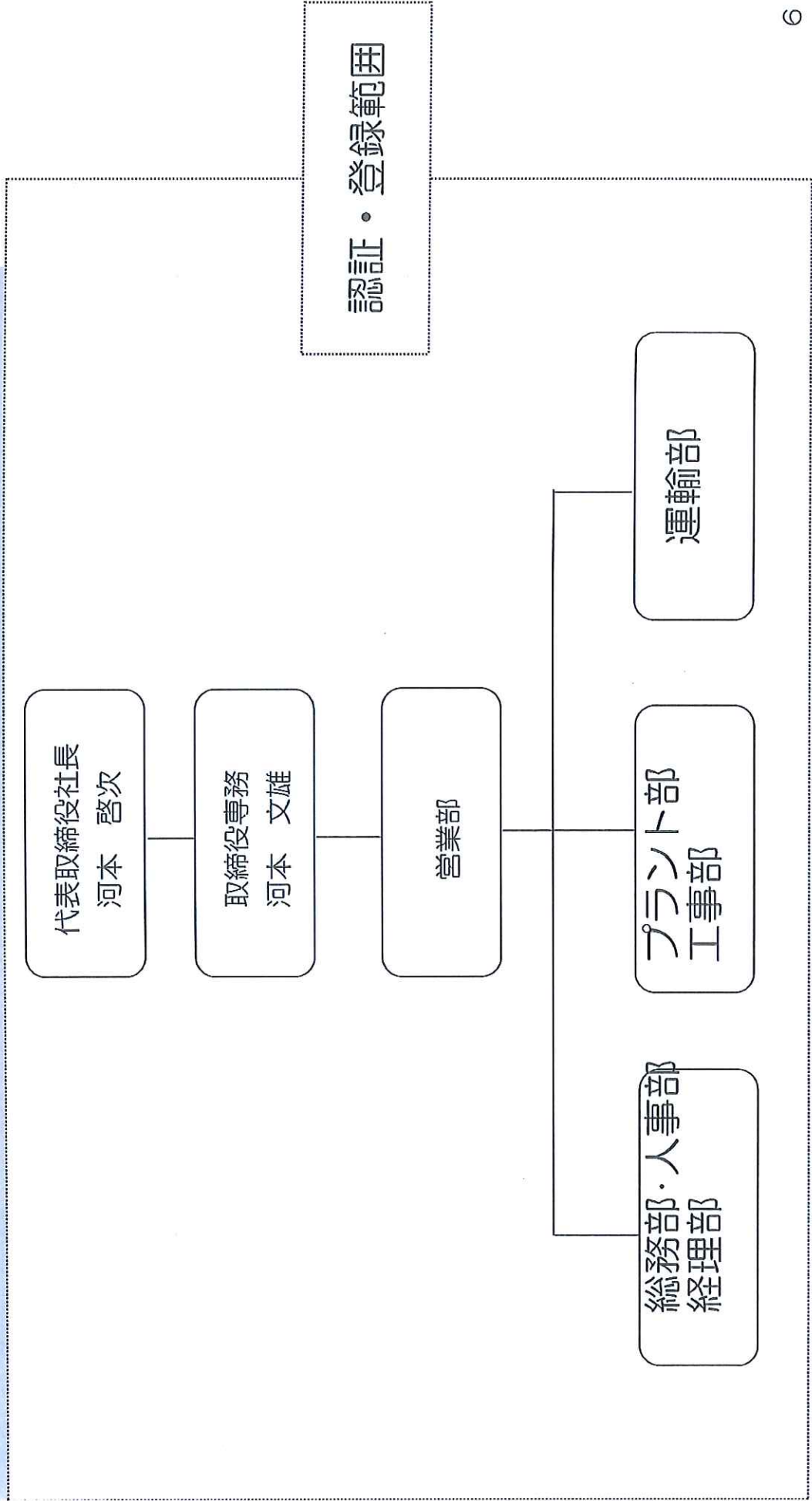


【再生材 RC-0-40/RM-25】



組 織 図

(株)河本商事



環境方針

基本理念

株式会社河本商事は、明るい未来の為に残された自然を守り

また環境負荷の低減を図りながら、地球環境の保護に貢献します。

基本方針

- 株式会社河本商事の事業活動が環境に与える影響を考慮し
- ・ 資材の省資源、リサイクルの推進による環境に配慮した工事の提供をします。
- ・ 受託した廃棄物の再資源化を推進します。
- ・ 社内の省エネルギー・省資源活動を積極的に推進します。
- ・ 効率的な収集運搬を行いエネルギーの有効的な活用を推進します。
- ・ 環境法規制を遵守します。
- ・ 周辺地域の清掃活動、環境保全活動は全ての従業員の参加で進めます。
- ・ この環境方針は社内へ掲示し、社外に公開します。

改定日：平成25年9月16日
株式会社河本商事
代表取締役 河本 啓次

平成26年度及び中期環境目標

環境目標		単位	平成25年度 (基準年度)	平成26年度	平成27年度目標	平成28年度目標	平成29年度目標	平成30年度目標
1	二酸化炭素排出量	Kg-CO2/ 12か月	1,661,338	1,014,971	1,644,725 (1%)	1,628,111 (2%)	1,611,498 (3%)	1,594,884 (4%)
1-1	電気使用量	KWh/ 12か月	30,721	23,579	30,414 (1%)	30,107 (2%)	29,799 (3%)	29,492 (4%)
1-2	重油使用量	リットル/ 12か月	46,598	35,708	46,132 (1%)	45,666 (2%)	45,200 (3%)	44,734 (4%)
1-3	灯油使用量	リットル/ 12か月	2,470	2,646	2,445 (1%)	2,421 (2%)	2,396 (3%)	2,371 (4%)
1-4	ガソリン使用量	リットル/ 12か月	5,290	4,068	5,237 (1%)	5,184 (2%)	5,131 (3%)	5,078 (4%)
1-5	軽油使用量	リットル/ 12か月	573,464	338,224	567,729 (1%)	561,995 (2%)	556,260 (3%)	550,525 (4%)
1-6	プロパンガス使用量	m3 12か月	18	32	18 (1%)	18 (2%)	18 (3%)	18 (4%)
2	自社発生廃棄物	ton 12か月	11	7	11 (1%)	11 (2%)	11 (3%)	11 (4%)
3	使用水量	リットル/ 12か月	602	627	596 (1%)	590 (2%)	584 (3%)	578 (4%)
4	事務用品のグリーン購入	回 12か月	31	26	31品以上	32品以上	33品以上	34品以上

基準年度の設定は平成25年度の数値としています。

・二酸化炭素排出係数は
平成25年度の九州電力の
排出係数(0.613)を
使用しました。

平成26年度 環境目標の達成状況と評価

環境目標			単位	平成25年度 (基準年度)	H26.9～H27.8	H26.9～H26.11	H26.12～H27.2	H27.3～H27.5	H27.6～H27.8
1	二酸化炭素排出量	415,335 3か月	Kg-CO2/	1,661,338	1,014,971 達成	287,048 達成	270,999 達成	263,945 達成	192,979 達成
1-1	電気使用量	7,680 3か月	KWh/	30,721	23,579 達成	5,950 達成	6,064 達成	5,368 達成	6,197 達成
1-2	重油使用量	11,650 3か月	リットル/	46,598	35,708 達成	8,881 達成	9,802 達成	11,009 達成	6,016 達成
1-3	灯油使用量	618 3か月	リットル/	2,470	2,646 未達成	268 達成	1,550 未達成	588 達成	240 達成
1-4	ガソリン使用量	1,323 3か月	リットル/	5,290	4,068 達成	1,149 達成	613 達成	800 達成	1,506 達成
1-5	軽油使用量	143,366 3か月	リットル/	573,464	338,224 達成	97,542 達成	89,704 達成	86,678 達成	64,300 達成
1-6	プロパンガス使用量	5 3か月	m3	18	32 達成	5.8 達成	7.4 達成	9.5 達成	13.3 達成
2	自社発生廃棄物	3 3か月	ton	11	7 未達成	2 達成	2 達成	2 達成	1 達成
3	使用水量	151 3か月	リットル/	602	627 未達成	131 達成	143 達成	149 達成	204 未達成
4	事務用品のグリーン購入		回	31	26 未達成	0 未達成	0 未達成	5 達成	21 達成

項目	目標値 (H26年度実績)	H27.9～H27.11	目標達成判定	H27.12～H28.2	目標達成判定	H28.3～H28.5	目標達成判定
二酸化炭素排出量	253,743 3か月	285,567 未達成	×	266,360 未達成	×	246,973 達成	○
電気使用量	5,895 3か月	5,655 達成	○	7,191 未達成	×	5,902 達成	○
重油使用量	8,927 3か月	10,647 未達成	×	9,034 未達成	×	11,034 未達成	×
灯油使用量	662 3か月	0 達成	○	1,505 未達成	×	449 達成	○
ガソリン使用量	1,017 3か月	638 達成	○	291 達成	○	631 達成	○
軽油使用量	84,556 3か月	95,928 未達成	×	90,221 未達成	×	80,768 達成	○
プロパンガス使用量	8 3か月	7.4 達成	○	8.9 未達成	×	9.9 未達成	○
自社発生廃棄物	2 3か月	2 達成	○	2 達成	○	2 達成	○
使用水量	157 3か月	181 未達成	×	238 未達成	×	169 達成	○
事務用品のリース購入		11 達成	○	6 達成	○	19 達成	○
記録日		H27.10		H27.10		H27.10	
記録者		山中		山中		山中	
			評価	評価	評価	評価	
			軽油の使用量が増加気味で、繁忙期ではありますが、アイドリングストップ等省エネを心がけてください。灯油の0iは大変素晴らしいのでこの調子でお願いします。	灯油の使用量が多いですが、軽油使用量は前回に比べて減少しています。このままのペースで頑張ってください。	重油・ガソリンの使用量が増えています。業務に差し支えない程度で二酸化炭素の排出量の低い軽油仕様の重機へ乗り換えて操業してください。		

平成26年度環境活動計画と実施状況及び評価
(H26. 9～H27. 8)

作成年月日	環境管理責任者	作成者
H26. 5. 31	河本文雄	山中百恵

1. 二酸化炭素排出量の1%削減

活動計画

取組目標	活動項目	責任者	2～4月	5～7月	8月	達成状況	評価及び取組への指示
1 電気使用量の1%削減	1 長時間席を離れるとき、パソコンの電源オフ	山中	← 実行 →			◎十分にできている	お昼休み、残業時等さらに取り組みを徹底して、削減を目指していく。
	2 お昼休みの消灯	山中	← 実行 →			○ほぼできている	
	3 残業時の不要な照明の消灯	山中	← 実行 →			○ほぼできている	
	4 エアコン設定温度を決め、実行する	山中	← 実行 →			◎十分にできている	
2 灯油使用量の1%削減	1 暖房温度の適正管理	山中	← 実行 →			○ほぼできている	冬場は設定温度を20度の設定をする。
3 ガソリン使用量の1%削減	1 省エネドライブの励行	木下係長	← 実行 →			○ほぼできている	年間を通して取り組みをする。
4 軽油使用量の1%削減	1 配車計画の合理化	木下係長	← 実行 →			○ほぼできている	繁忙期には特にロスのないように計画を立て実行する
	2 アイドリングストップ手順を決め、実行する	木下係長	← 実行 →			△まだ不十分	
	3 省エネドライブの励行	木下係長	← 実行 →			△まだ不十分	

2. 自社発生廃棄物の1%削減

取組目標	活動項目	責任者	2～4月	5～7月	8～9月	達成状況	
1 紙使用量の削減	2 裏紙の利用	山中	← 実行 →			◎十分にできている	継続して実行する。

2-2. 受託廃棄物のリサイクル率

取組目標	活動項目	責任者	2～4月	5～7月	8～9月	達成状況	
1 リサイクルの推進	1 リサイクルしやすくするための処理の推進	鶴留	← 実行 →			○ほぼできている	分別を徹底する。
	2 分別の徹底		← 実行 →			○ほぼできている	継続して実行する。

3. 使用水量の1%削減

取組目標	活動項目	責任者	2～4月	5～7月	8～9月	達成状況	
1 事務所における節水活動	1 トイレでの水流しを1度にする	山中	← 実行 →			◎十分にできている	継続して実行する。

4. グリーン購入の推進

取組目標	活動項目	責任者	2～4月	5～7月	8～9月	達成状況	
1 備品の購入	1 グリーン購入法の商品を購入	山中	← 実行 →			◎十分にできている	継続して実行する。

5. リサイクル製品の開発

取組目標	活動項目	責任者	2～4月	5～7月	8～9月	達成状況	
1 リサイクル製品の開発研究の推進	1 情報収集とリサイクル可能性の検討	鶴留	← 実行 →			△まだ不十分	徹底をすること。

6. 会社周辺の清掃

取組目標	活動項目	責任者	2～4月	5～7月	8～9月	達成状況	
1 会社周辺の清掃	1 運輸・プラント・事務所で班を編成し義務感を取り除く。	鶴留	← 実行 →			○ほぼできている	町内清掃活動に参加した。

次年度の取組内容

- ① 二酸化炭素排出の抑制に伴う軽油についてさらに創意工夫し継続改善に取り組んでいく。
- ② 再生骨材(再生クラッシャーラン・再生粒度調整碎石)の品質の向上及びその他の品物を再利用できるように開発を行う。
- ③ リサイクル製品の生産および提供についてはバージン材よりも環境負荷が低減できるので発注関係へアピールはもちろん営業活動を強化していく。

当社の関連する環境関連法規への違反、訴訟の有無

環境関連法規の名称	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○
建設リサイクル法	○
騒音・振動規制法	○
消防法	○
労働安全衛生法	○
福岡県条例	○
道路運送車両法	○
道路法	○
道路交通法	○

その他関連法規も含めて遵守状況を社内にて確認した結果
 過去3年間違反歴及び訴訟歴はありません。
 また上記関係当局よりの行政処分・訴訟等は3年間ありません。

代表者による全体の評価と見直し結果

当事業所は、より一層エコアクション21に取り組めた。

昨年に比べると大変良い結果になっていると思われる。

環境負荷について客観的に評価・見直しできるすぐれた仕組みであると認識でき、

また、実績の数値等が年々下がる事により、全社員の意識の向上に繋がるものである。

今回も、残念ながら達成出来なかった項目もあるが、昨年よりは達成できた事項も沢山あるので

今後の従業員の意識の変化と活動への積極的な取り組みに期待したい。

私たちが環境保全に対して意識をより一層高めていくことは、循環型社会を担う者としての責務があります。

今後も積極的に活動に取り組んでいってほしいと思う。

環境活動の紹介

定期的なエアコンの清掃



防災訓練



清掃活動

